

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	城東保育園
施設所在地	江東区南砂7-9-11
法人名	江東区

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然
サブテーマ・4歳児…「土」
・5歳児…「流す、流れる」「光と水」

<テーマの設定理由>

戸外遊びが好きな子どもたちが様々な遊びの中で「自然」と関わる姿に、深い興味関心を持っているように感じた為。

2. 活動スケジュール

合計24回（内訳8月4回、9月2回、10月1回、11月1回、1月8回、2月8回）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

4歳児…黒土・赤土・荒木田土、衣装ケース、砂遊び遊具（ふるい、バケツ、三角こて、砂すくい、シャベル）、給水タンク、透明大型シート、記録用カメラ、三脚、テーブル、ベンチ
5歳児…とい、たらい、ペットボトル、ビー玉、LaQ、木製積み木、水風船、巧技台、バケツ、水、シリコン水風船、毛糸、食品トレイ、牛乳パック、ブルーシート、アクリル水槽（四角・丸）、ライト、ランタン、絵具、筆、紙、スピーカー、マグネットシート、ジョーロ
振り返り…ケーブル、付箋、マイク

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

4歳児…①10月、11月は砂場横に衣装ケースに入った土を設置し、水タンクや玩具も用意した。玩具はこどもの反応や様子に合わせて出し、土の質感の違いを感じながら混ぜたりこねたり、ふるいにかけて楽しんでいた。

②1月、ホールに透明シートを敷き、そこに水を含ませた土を山にして設置した。玩具は使わず素手、素足で感触を楽しんだ。

③2月、園庭に机を設置し、その上に3種（黒土、赤土、荒木田土）の土と、水を含ませた土を山積みにした。玩具はこどもの様子を見て使用し、机上での土の感触や土の違いを探究していた。

5歳児…①8月、9月はといに水を流し、流れる様子を観察した。また素材によって流れが違うことや、といの角度・高さ・水の量で流れ方が違うことを発見した。

②1月、2月は部屋は薄暗くし、水槽やアクリルケースに水や絵の具を入れ、光を当てながら混ぜたり絵を描いたりして観察した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

4歳児…土に触れ「こっちは冷たい」「こっちは固い」と温度や固さの違いを感じていた。

- ・少し水を含んだ土の上を裸足で踏むと「気持ちいい」「むにむにする」の声。しばらく遊ぶと「気持ちいいから寝ちゃった!」と土の上に寝そべっていた。
- ・土の塊をふるいで削りながら「これは何ですかね?」「固いんですね」「爆発するんでしょうか?」とこども同士で話しながら削り続けていた。

5歳児…水を流す為の高さや角度を調整しながら繰り返し水を流して試行錯誤していた。素材によって流れる速さや音が違うことにも気づき、より多くの素材を流して楽しんでいた。保育者はこどもの発想や言葉を肯定的に受け止め試したいことの実現を援助した。

- ・計画の時点では光の屈折や反射を楽しむ活動としていたが、こどもの「絵具を入れたい」という発想から絵具を使用すると、水中での色の混色やライトの色の変化に興味を示す子が多かった。絵具の濃度によって、光の通り方にも変化があることに気づき、2回目は絵具の量をこども自身で調節していた。こども同士、友だちの気づきや発想を認め喜びを共有していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

少人数での活動では普段と違う表情がたくさん見られた。また、こどもの発想を肯定し、やってみみたいことが実現出来たときのこどもの表情はとてもいきいきとしており、こどもの心が動く瞬間や、試行錯誤しながら探究しているこどもの姿を間近で見ることが出来、保育者も気づきの連続となった。